

就労支援リーフ

3

移植後

# 造血細胞移植後の就労について

移植後、退院が予定されている方、また退院後通院中の患者さんを対象に、お仕事(就労)に関する情報提供をさせていただきます資料です。

## 移植を受けて退院した後…

多くの移植経験者が、移植後に復職をしています

移植から**1年後に復職→38%**、**2年後に復職→58%**、**5年後に復職→76%**

(調査時65歳以下、時短やフレックスなどの配慮のある復職を含む) 国内の移植経験者 1,048 人の全国調査より (Journal of Cancer Survivorship 2021)

主治医から職場に対して  
就業の可否や就労条件などの  
情報提供を行うこともできます

移植後  
1年過ぎたころから、  
復職する人が  
だんだん増えてくるんだ…



### ① 診断書

主治医から職場に対する比較的簡潔な情報提供を行う方法

### ② 主治医意見書(療養・就労両立支援指導料)

まず患者さんと職場が相談されたうえで、  
勤務先と主治医の間で、就業条件などについて情報共有や相談をする方法

例えば…

「外来通院の頻度」、「時短やフレックス勤務が望ましい状態か」、  
「時間外労働」「車の運転」「出張」などの就業が可能か・避けるべき作業があるか  
といったことを、内服薬や晩期合併症などの体調とあわせて主治医が回答します



患者さんからの希望・同意がある場合

- 診断書
- 主治医意見書



治療担当施設  
がん診療連携  
拠点病院



患者さん



勤務先

- 上司・人事部
- 産業医

患者さんからの希望・同意がある場合

就労可否や  
必要な配慮などの問い合わせ

## 新しくお仕事を探される方へ 「長期療養者就労支援事業」

入院や通院をしながらご相談していただきやすいように、がん診療連携拠点病院等における出張相談も行われています

- 患者さんの体調にあった職場を紹介してくれるハローワークの取り組みです
- 長く治療でお仕事を休まれていた方が利用できる仕組みです。是非一度、相談をしてみてください

## 退院後は…

- 担当医の外来のほか、**移植後長期フォローアップ(LTFU)外来**において、退院後の生活や体調について伺います
- **雇用継続、復職、新規の就職**についてもご希望があれば、就労支援担当部署と一緒に**ご相談をお受けします**

## 移植後長期フォローアップ<sup>®</sup>(Long-Term Follow-Up: LTFU) 外来

移植後、退院されてからの生活における様々な事から(食事、日常生活、リハビリ、復職、アピランス〈外見〉など)に関する情報提供や、体調のセルフケア、心理社会面のサポートなどを行うことを目的として、定期的、または必要に応じて受診していただくものです

### 移植後1年以内

- 多くの患者さんがまだ免疫抑制剤を内服中です
- 自宅で行うことのできるデスクワークなど、職種によっては復職可能です
- 休職中の方は職場の担当者とコミュニケーションを取り始めることもおすすめです
- 移植後フォローアップ外来では下記のようなことも確認させていただきます
  - ▶ 復職や再就職を予定・希望しているか
  - ▶ 復職や再就職をしたらどのような職種か
  - ▶ 退職(雇用契約の解除)をされているか
  - ▶ 休職(雇用継続)であれば休職期間の利用状況

### 移植後1年目以降

- 免疫抑制剤が中止となる平均的な時期(約半数の患者さんで終了)であり、内服薬や体調によりますが、復職を検討し始める時期といえます
- 患者さんご自身の復職希望に加え、GVHD 症状などの晩期合併症や免疫抑制剤の投与状況、休職期間、職種・業務内容といった情報をあわせて、一緒に考えていきます
  - ▶ 雇用継続されている場合→**復職支援：社労士、産業医、さんぽセンターの促進員**
  - ▶ 退職されている場合→**新規就職支援：ハローワーク**

ハローワークでは、入院や通院をしながらご相談していただきやすいように、がん診療連携拠点病院等における出張相談も行われています

### 復職後

- 復職したあとも、体調とうまく付き合いながら、また職場の理解も上手に得ながら就労継続ができるように、工夫が必要です
- 移植後の症状とうまく付き合うためのセルフケア指導のほか、症状に合わせた就業条件の配慮を得るためのご相談など、移植後長期フォローアップ(LTFU)外来担当者や就労支援部門がお手伝いをいたします

ひとつ  
メモ

